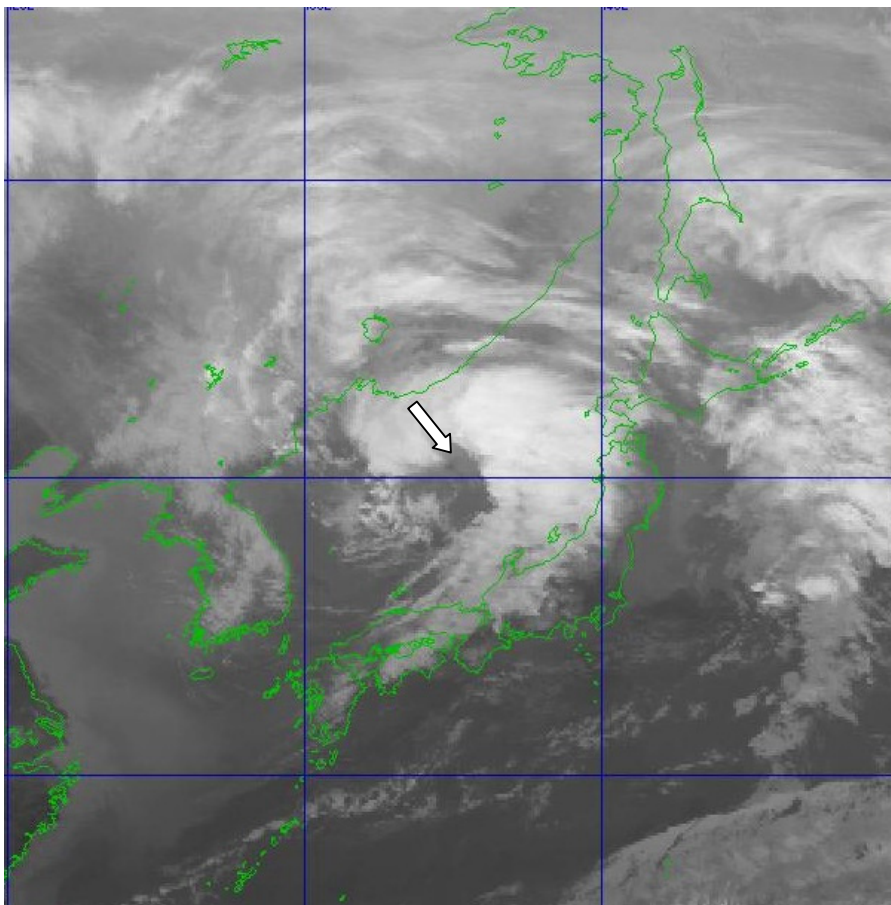


今月の気象衛星画像 (2004年2月)



2004年2月14日15時の赤外画像

春一番

春一番とは、立春から春分の間において、日本海で低気圧が発達した場合に、南よりの強風が吹いて昇温した最初の日をいう。

写真は、2月14日15時の赤外画像である。日本海中部にコマ型の雲が見られ、矢印付近に低気圧の中心がある。また、そのコマ型の雲の西日本に延びる尾の部分は、寒冷前線に対応している。この寒冷前線の南側では、南よりの暖かい風が低気圧中心に向かって吹くため、気温が上昇しやすい。

この日、東京では、最高気温 16.0℃で平年値を大きく上回ったほか、15時50分に南西の風 11.6m/sの最大風速を観測した。南西風は21時頃まで続いたが、22時には北北西の風になり、気温は前1時間に比べ 4.3℃も下がり寒冷前線が通過したことが分かる。

春一番は春の陽気をイメージさせるが、海上では強風による高波や積雪の多い所では昇温によるなだれが起きやすくなるなど防災上の注意が必要である。

(気象衛星センター)